



市民図書館は、1日平均約300人の利用者が訪れ、乳幼児から高齢者の方まで幅広く利用されている市民の知の拠点施設です。

市の中心部が普天間基地で占められている特殊な地形であることから、市民への公平な図書館サービスの提供を目的に、平成14年には移動図書館「ちゅらゆめ号」の巡回を開始し、市内(27ステーション)で広くご利用いただいています。

市民図書館のあゆみ

- 昭和62年7月
図書館建設事業プロジェクトチーム発足
- 平成3年11月
市民図書館開館
- 平成6年10月
図書資料貸出100万冊達成
- 平成8年7月
レファレンスカウンター業務開始
- 平成14年3月
移動図書館(ちゅらゆめ号)巡回開始(17ステーション)
- 平成14年10月
インターネット利用者サービス開始
- 平成19年8月
インターネット蔵書検索サービス開始
- 平成20年10月
子育て支援ブックスタート開始
- 平成21年3月
入退館システム・自動貸出し機導入
- 平成23年6月
AVブース入替え・窓際読書コーナー設置
- 平成24年9月
授乳室設置
- 平成28年9月
赤ちゃんタイム開始
毎週水曜10時~12時
- 令和3年7月
図書除菌機設置
- 令和3年11月



図書除菌機

開館30周年!!

館長 文栄広美

本市民図書館は、開館時約7万5千冊からスタートした蔵書数が、現在約35万冊となり、登録者数は約2万8千人となっています。

また、各種講座の開催、市民や地域が学んだ成果を社会に還元できる場の提供・支援を行い、市民の生涯を通じた学びの拠点としての役割を担っています。

グローバル化が進み、市民の価値観やニーズが多様化している高度情報化社会に、知の拠点施設として誰もが必要な情報にアクセスできるよう、インターネット整備による市公共施設間での図書資料連携、館内IT設備の充実を視野に、これからも市民の生涯学習の充実に取り組んでまいります。



宜野湾市民図書館開館30周年!

市民図書館シンボルマーク「笛吹きキジムナー」(作: 故 與那覇朝大氏)は、図書館の役割である「文化の発展と継承」を図案化したものです。

キジムナー(文化の象徴):
沖縄に古くから語り継がれている木の精

笛吹き(継承の象徴):
人々を集め、知らせるための道具



與那覇朝大ミニ絵画展
同時開催!

ぎのわん教育の日関連事業

開館30周年記念イベント 11月3日(水)~11月29日(月)

おもしろ絵本展・ブックリサイクルフェア10:00~17:00 (受付時間10:00~16:30まで)

おもしろ絵本展
2階 カルチャーホール

普段は表に出ていない「とびだす絵本」
「音が鳴る絵本」など楽しい絵本の展示!



たーにゃ

絵本展の様子



たーぼん

図書館のあゆみパネル
1階 出入り口付近

30年前の市民図書館の写真や年表等を展示!



開館初日



たいもちゃん

ブックリサイクルフェア
2階施設(学習室など)

一般書・児童書・えほん・雑誌まで種類豊富!
※マイバックをご持参ください!
(なくなり次第終了)



リサイクル
予定の本



が★ねこ

11月3日(水)限定
移動図書館 特別貸出



図書館玄関前で、
移動図書館ちゅらゆめ号がまっています!
10:00~16:00



図書館のネコ

施設案内

1階

- 中央カウンター
- 一般書コーナー
- 児童書コーナー
- レファレンスコーナー
(郷土資料、参考書コーナー)
- ※調べ物の相談を受付
- AVコーナー(CD・DVD)
- ※視聴用のブース設置
- 新聞・雑誌コーナー
- インターネット検索コーナー
- ☆図書検索機
- ☆自動貸出機
- ☆図書除菌機



中央カウンター



一般書コーナー



おはなしのくに



レファレンスコーナー



AVブース

2階

- 学習室
- 会議室
- 展示ホール
- カルチャーホール
- 閉架書庫



児童書コーナー



インターネットコーナー



閉架書庫